

新社長の挨拶

新年度を迎えるにあたり、この度、代表取締役を拝命いたしました秋元堯です。入社から十八年、先代の三宅社長、そして現代表である渡辺社長のもとで学び、支えていただきながら今日まで歩んでまいりました。大きな役割を任せていただけのことへの喜びと同時に、これからは自分だけでなく会社全体の未来を背負う責任の重さを、あらためて感じております。

保険代理店ロイドはこれまで、お客様、従業員、そして保険会社をはじめとする多くのパートナーの皆さんに支えられ、着実に成長してまいりました。その歩みの中で、“貢献・正直・行動”という私自身の人生理念が、ロイドの文化にも深く根づいていることを実感しております。



秋元 堯

これからロイドは、さらにお客様の挑戦を支え、価値ある提案と安心を提供できる存在であり続けることが重要だと考えております。のために、社員一人ひとりが「貢献」を軸に、「正直」に向かい、「行動」に移すことができる会社づくりを進めてまいります。成長を止めることなく、お客様にとっても、働く私たちにとっても誇れる保険代理店でありたい——これが新社長として私の強い決意です。

地域のお客様の安心を守り、挑戦を支えるために、ロイドはこれからも価値を高め続けてまいります。その実現には、これまでと変わらず、お客様やパートナーの皆さんのお力添えが欠かせません。皆さんと共に成長し、より良い未来を築いていけるよう、社員一同、誠実に行動してまいります。今後とも、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ロイド かわら版

令和8年 新年号 発行所

保険代理店ロイド



本社オフィス



東京オフィス



大津



山下



浦野



三橋



紺野



藤原



中村



井上



渡辺



山崎



〈取扱代理店〉



株式会社 保険代理店ロイド

(本社) TEL.0466-50-2510 FAX.0466-50-0749

(東京オフィス) 専用フリーダイヤル.0120-047-087

(本社営業時間：月～金 9:00～17:00 東京オフィス：月～金 9:00～17:00)

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店までお問い合わせください。



〈引受保険会社〉
損害保険ジャパン株式会社
SOMPOひまわり生命株式会社
第一生命保険株式会社

保険代理店ロイドが“なんでも相談サービス”を始めた理由

「なんでもロイド相談サービス」をご存知ですか？保険は「万が一」に備える大切な仕組みですが、実際の生活で人が悩む場面は、その“万が一”よりもずっと日常の中に潜んでいます。

たとえば、親の介護、実家の片づけ、相続や遺言の問題、入院時の手続き、認知症が心配な家族の財産管理、そしてご自身の老後の住まいや葬儀のこと。どれも保険ではカバーしきれないけれど、放っておくと大きな不安に変わるテーマばかりです。

そこで保険代理店ロイドでは、契約者様が“人生のどんな場面でも相談できる窓口”として

一般社団法人 日本Happy Ending 協会と提携して「なんでも相談サービス」をスタートしました。

「なんでも」と、名前のとおり、保険に関係があってもなくても、暮らしや老後にまつわる困りごとなら

何でもご相談いただけるサービスです。たとえば、

- 親が施設に入ることになったが、どこに相談してよいか分からない
- 相続や遺言の準備をしたいが、どこから始めればよいのか不安
- おひとりさまの老後が心配。誰に頼ればよい？
- 家の名義や不動産整理をどのタイミングで進めればいい？
- 身元保証人がいないが、介護施設に入れるのか

こうした「まず誰に相談すればいい？」という悩みに対して、

保険代理店ロイドが最初の“道案内”となります。



初回無料で、専門家の相談を無料で受けられること。ファイナンシャルプランナー、行政書士、

司法書士、税理士、家財整理の専門会社など、人生の節目を支えるプロたちと連携し、必要に応じて最適な窓口へおつなぎします。もちろん「まだ何も決めていない」という段階のご相談でも大歓迎です。

保険代理店ロイドは「保険だけのお付き合い」で終わりたくないありません。人生の不安を一緒に整理し、

“一步前に進むための伴走者”でありたいと考えています。

困ったときに思い出していただける「あなたの相談先」として。

どうぞお気軽にロイドの「なんでも相談サービス」

をご利用ください。

なんでも相談サービスのウェブサイトをQRコードからご覧ください。



聞こえた「フリ」していませんか？

年齢を重ねると、高くて小さな音が聞き取りにくくなっています。

聴力の変化は40歳前後から始まるといわれており、この「聞こえづらさ」と

認知機能の低下には深い関係があることが分かっています。難聴を放っておくと、

脳への刺激が減り、認知機能の衰えを早めてしまうことが多くの研究で明らかに

なっています。

脳への新しい情報や刺激が少なくなると、認知機能の低下につながってしまうのです。

難聴は少しずつ進行します、「テレビの音が大きいと言われる」「電話が聞き取りづらい」「マスク越しの会話が聞こえにくい」——そんなサインは要注意です。これらを放置してしまうと、音を聞き取る脳の働きが衰えます。一方で、早期に補聴器を使うことで脳の認知機能が低下する前に「会話が億劫になる」状態を防ぐことができます。これまで通りスムーズな会話が可能であれば、人との交流も前向きに楽しめる状態が続きます。

周囲の人たちにとって「大きな声で話す」「何度も聞き返される」などの負担が減り、お互いのストレスを軽減できます。特に家庭内では聞こえづらさが引き起こす小さなすれ違いが、家族関係にも影響していることも少なくありません。

難聴は加齢による自然な変化ですが、対策をすれば進行を遅らせることができます。

聞こえにくいと感じたら、まずは耳鼻咽喉科や補聴器専門店に相談してみましょう。最近の補聴器は性能もデザインも大きく進化しており、にぎやかな場所でも自然に聞き取りやすくなっています。

介護・福祉用品を取り扱っている『フランスベッド』では、「外出が難しい」「お店に行くのは少し恥ずかしい」という方のために、自宅で聴力測定や試聴、相談ができる無料の出張サービスも行っています。

難聴対策は豊かな毎日を送るための第一歩。

「聞こえにくい」と感じたら、そのままにせず、早めに相談してみましょう。



〈取扱代理店〉

株式会社 保険代理店ロイド

(本社) 〒251-0055 藤沢市南藤沢23-6 富士見ビル4F

TEL.0466-50-2510 FAX.0466-50-0749

(東京オフィス) 〒166-0003 杉並区高円寺南4-26-16 芦野ビル4F

東京オフィス専用フリーダイヤル.0120-047-087

(本社営業時間：月～金 9:00～17:00 東京オフィス：月～金 9:00～17:00)

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店までお問い合わせください。

